

ミキサ車混合 CB モルタル

TAC 技術情報
I-018001a

施工性を向上させ周辺環境への影響も抑制できる新 CB モルタル

●概 要

CB (セメント・ベントナイト)モルタルを現地で作液・打設するには、様々な資機材と労力が必要です。

タックは、施工性を向上させ周辺環境への影響も抑制できる新 CB モルタルを開発しました。

新 CB モルタルは、生コンクリートを運搬するミキサ車に特殊クレーサンドと特殊流動化剤によるクレーサンド溶液を混合・作液して打設箇所まで圧送するもので、省力化・省スペース化・高環境での施工が可能です。

新 CB モルタルの配合 1m³ 当り

配合ケース	ミキサ車運搬		現地混練			
	硬化材	水 1	特殊 クレーサンド	特殊 流動化剤 1	特殊 流動化剤 2	水 2
	高炉セメント B 種 (3.04)	清水 (1.0)	TAC- α -EX (2.6)	FTA-EX (2.10)	FTA-L-EX (1.20)	清水 (1.0)
① C=500	500 kg	553 L	40 kg	1.0 kg	0.5 kg	266 L
② C=600	600 kg	520 L	40 kg	1.0 kg	1.0 kg	266 L
③ C=700	700 kg	487 L	40 kg	1.0 kg	1.5 kg	266 L
④ C=800	800 kg	453 L	40 kg	1.0 kg	2.0 kg	266 L

●お客様のメリット

- 仕様に応じて、任意の配合を選択することが可能です。
- 2 種類の流動化剤を配合することで、必要な流動性を保持するとともに、材料分離抵抗性を確保でき、狭小空隙にも充填が可能です。
- 狭小空隙への充填が可能なことから、鋼板巻き工事での充填にも使用できます。
- 現地での混練は 4t 車上にてクレーサンド溶液を作液後、ミキサ車(セメントミルク)に圧送して混合することで完結するため、省力化かつ省スペース化施工が可能です。
- 残材料はミキサ車への返却が可能なため、濁水処理の省略が可能です。
- 周辺環境への影響(騒音・振動・粉じん)を抑制できます。

●特 徴

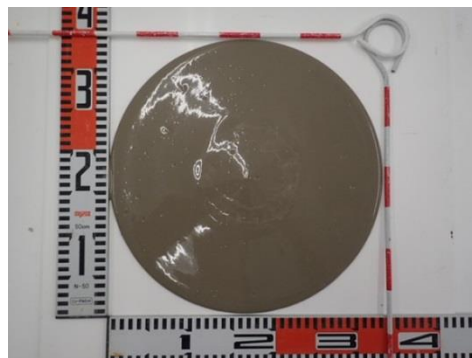
- 配合試験結果

配合試験結果測定例

試 験 名	① C=500	② C=600	③ C=700	④ C=800
生比重	1.36	1.43	1.50	1.56
ブリーディング (1 日後)	1.5%	0.6%	0.3%	0.1%
J ₁₄ ロート	2.45 秒	2.56 秒	2.80 秒	3.25 秒
フロー値 (シリンダー法)	360×360 mm	340×340 mm	315×315 mm	300×300 mm
一軸圧縮強度 (28 日)	① 3.54 ② 3.67 ③ 3.67 平均 3.63 N/mm ²	① 5.53 ② 5.57 ③ 5.65 平均 5.58 N/mm ²	① 7.55 ② 7.64 ③ 7.68 平均 7.62 N/mm ²	① 10.63 ② 10.68 ③ 10.55 平均 10.62 N/mm ²
呼び強度	3N/mm ² 以上	5N/mm ² 以上	7N/mm ² 以上	10N/mm ² 以上

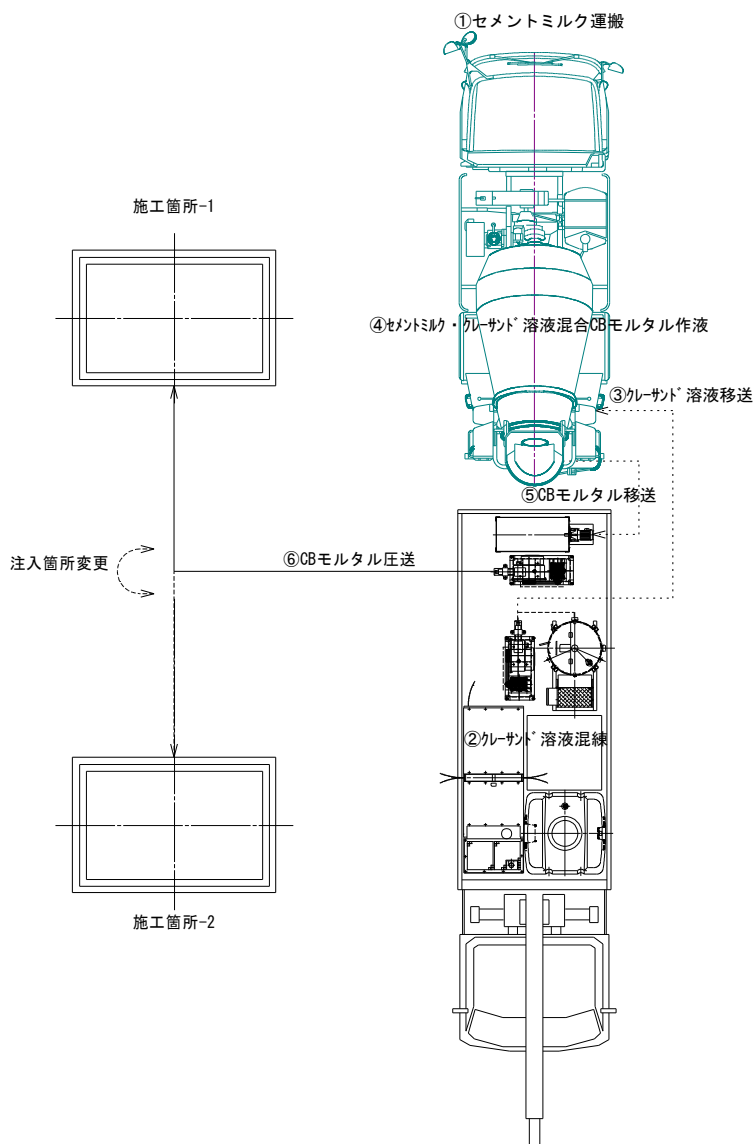


J₁₄ ロート測定状況



フロー値測定状況

○ 施工イメージ例



<作業手順>

- ① ミキサ車にてセメントミルク運搬
- ② 4t 車上アジテータミキサにてクレーサンド溶液混練
- ③ クレーサンド溶液をミキサ車に移送
- ④ ミキサ車にて混合して新 CB モルタル作液
- ⑤ 新 CB モルタルを施工箇所へ圧送打設